

山根自主防災会設立

山根親和会副会長 照 沼 啓

山根親和会は住民の隣保共助の精神に基づき、地震火災その他の災害に対して自主的な防災活動を行い、被害の防止及び軽減を図ることを目的とした、自主防災会を設立しました。

設立に当たって、日立市消防本部から頂いた資料に基づき規則や組織表を作成し、親和会役員会において審議を重ねて防災会の役員を決めてゆきました。その間に日立消防本部の川崎副署長、風間消防司令の再三にわたるご指導を頂きました。紙上をお借りして厚くお礼を申し上げます。

「自分の生命と自分の財産は自分で守る」を合言葉に7月7日午後6時より防災訓練を実施致しました。70余名が参加され、会長挨拶

のあと、お忙しい中をご来場下された、助川まちづくり協議会の大高会長から祝辞を頂きました。

いざという時冷静な行動をとるには訓練しかありません。川崎副署長以下7名の方々による、消火器の取扱い火点の放射等の説明があり、油火災を想定して9名の方が消火器を使用して実践消火を行いました。特に婦人の方が訓練に参加されたのは良いことと思います。引き続いて山根集会所において、川崎副署長より自主防災のお話があり、つぎに自主防災関係の映画の上映がありました。そして質疑応答に移りましたが質問の主なものは、消火器の耐用年数や設置場所に関するもので消火に関心が深いことが現れていました。

最後に、参加者の親睦と自主防災に対する認識を深めることを図って、福引抽選会を行い、和気あいあいのうちに解散しました。

日立市コミュニティ推進協議会・各単会事務局長研修会

先進都市視察報告

書記 青山 光子

去る7月4日、表記の研修会に助川学区代表として参加してきました。

1日目。浦和市の市民文化センターで活躍中のセンター代表三宅稜威夫さんの講話をうかがいました。この市民文化センターでは、生活者の立場で地域と生活に根ざした文化づくり、コミュニティづくりを多面的に展開している民間のグループが活動しています。

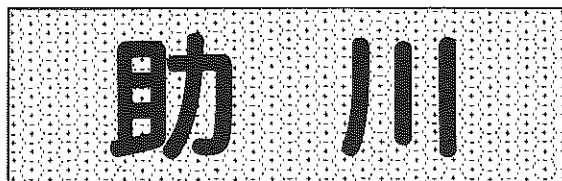
12年目を迎えて、まず作った目的は自分の生活、街をよくするため「その活動にはテーマ、意識を入れ、自分たちの生活と文化意識のないものはやらないし、なんといっても自分の足元をよくする運動でなければならない」とのこと。株式会社になっていますので私たちの運営方法とは違いますが、助川会館(仮称)が出来ましたら、学んだことを参考にしてい

きたいと考えております。

2日目。川越市の市内視察(博物館・喜多院・蔵の町を散策)城下町として栄え、江戸時代には「小江戸」と呼ばれていた街で、再度の大火の経験から生まれた防火用の分厚い黒塗り蔵造りの家や格子の家が今に残り、往時の面影を偲ばせています。また、川越市のシンボル、木造の時の鐘は電動式で、一日4回、街中に時刻を知らせています。

このような情緒ある風情も、自動車の往来が激しく、日立市の銀座も一層のように車をシャットアウトしたほうが、風情を楽しめるのにと残念に思いました。

2日間にわたり有意義な視察研修をさせていただきありがとうございます。以上報告いたします。



機関紙第26号・平成2年8月10日発行

助川まちづくり協議会

事務局・日立市鹿島町1-21-1 ☎21-6031
発行者/会長 大高 満則 編集者/調査広報部 蛭田 和生

地域福祉について

副会長 永井 久善

人生80年時代を迎えて私たちの暮らし方や生き方が問われています。今の日本を見わたしても私たちのまち日立でも、①子どもが少なくなってきた ②高齢化が進んできた ③核家族化が進んでいる ④共働き世帯が多くなってきた ⑤隣近所の人間的なつながりが弱くなっているなど、昔と違ったさまざまな問題が、新しい課題となってきています。そこでみんなで考え解決する力を、更に一層強くしなければならぬと思います。本来本人自身のことは本人がすべて解決すべきが当然のことでしょうが、今日の社会では社会の力で考えることも必要となっています。そこで地域社会でこのことを考え、地域の中でひとりひとりが自立し、支え合いながら生きていくことがとてもとても重要になっているのです。この支え合いが「地域福祉」の基本なのです。「地域福祉」がそうした観点から重視され

話題となってまいりました。折しも私たちの「助川学区」が、地域として解決すべきこととしての日立市のモデル地区に「日立市地域福祉推進会議」より指定されました。そこで先年来より当学区内の各種機関・組織団体に付託され、その代表者が多く参集して「地域福祉懇談会」を設け種々検討いたしました結果、以下のことを視点の柱としてあげまして

1. 地域社会を重視する
2. 老壮青少の豊かな人間関係をつくる
3. 生活問題を住民の力で解決する
4. 男と女の新しいライフスタイルをつくる
5. 健康を支える
6. 心のかような新しいまちをつくる
7. 自分たちと自分たちのまちを学ぶなど、

◎地域として積極的にこの問題に取り組む。ために新しい専門組織を結成することがまともりました。

いま準備委員会の段階で新組織の確立と問題解決へ鋭意努めますので、地域の皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

◆平成2年度の役員さんが決まりましたのでご紹介いたします。お気軽にご相談下さい◆

助川まちづくり協議会平成2年度役員名簿

役職	氏名	住所/TEL	役職	氏名	住所/TEL	役職	氏名	住所/TEL	役職	氏名	住所/TEL
会長	大高 満則	鹿島町1-21-1 21-6031	青少年 対策部	長山 茂	弁天町2-5-9 21-2986	山根	◎鎌田 幸慈	高鈴町1-23-4 23-2945	高鈴	◎鈴木新太郎	高鈴町1-14-3 22-5086
副会長	永井 久善	鹿島町1-14-7 21-2044	安全 対策部	及川 篤三	助川町5-19-1 22-3305		○照沼 啓	助川町3-11-9 21-0169		○福田 俊雄	高鈴町2-5-6 22-0318
	片野 留吉	助川町3-19-4 22-3978	福祉 対策部	征矢 義勝	城南町1-7-11 21-3589		○鈴木 正三	助川町4-7-36 22-5286	城南北	◎佐藤 育三	城南町2-8-17 22-4002
	瀬成田高光	城南町5-10-1 22-1443	支部	◎支部長	○副支部長	助川	◎堀越 良一	助川町4-27-11 22-2648		○佐藤 安男	城南町2-10-12 22-4048
監事	樋口 二郎	神崎町2-9-7 21-0251	下町	◎樋口 二郎		4丁目	○佐藤 純子	助川町4-11-11 22-9050	城南南	◎江沢 正一	城南町2-10-14 22-3549
	関山 千城	城南町1-7-7 21-1895		○吉成 留夫	助川町1-11-20 22-5803		○野口 和恵	助川町4-22-1-302 22-5568		○高倉 誠	城南町3-3-31 22-4065
事務局長	征矢 義勝	城南町1-7-11 21-3589	上町	◎白井源重郎	助川町2-5-5 21-0104	助川	◎益子 明	助川町5-3-8 24-0500	城南	◎斉藤 伍郎	城南町4-13-5 23-1495
次長 (書記)	青山 光子	鹿島町2-11-7 23-0408		○野村 恒信	助川町2-9-1 22-4795	5丁目	○河村 三郎	助川町5-4-8 21-5913	4丁目	○八重樫俊夫	城南町4-14-28 23-2922
次長 (会計)	鈴木 博子	鹿島町1-20-10 21-1230		○高橋 多	助川町2-8-3 22-2280		○中西 芳雄	助川町5-17-16 22-4772	城南	◎小沼 秀男	城南町5-10-8 23-2261
会計	石川 為次	神崎町1-3-2 22-5820	鹿島北	◎佐藤勝四郎	助川町1-17-9 22-0224	弁天北	◎長谷川兼政	弁天町2-7-17 21-5571	5丁目	○岩田 哲	城南町5-4-2-302 22-4355
専門部長				○照山 文彦	鹿島町1-8-2 21-1994		○鈴木 龍雄	弁天町2-6-7 22-0070	消防	◎塩原 広志	金網町4-A203 35-3590
調査 広報部	蛭田 和生	鹿島町2-14-2 21-1771		○藤沼 稜	鹿島町1-10-6 22-1308		○白石 新蔵	弁天町2-9-13 21-1441	アパート	○芳賀 聡	金網町4-C104 37-1849
環境 美化部	篠原 貢	助川町2-3-1 21-0022	鹿島南	◎小林 富男	鹿島町2-20-16 21-0979	弁天南	◎垣沼 勝彦	弁天町2-22-6 21-1297			
文化 体育部	峠 満	助川町4-1-6 21-1868		○蛭田 和生	鹿島町2-14-2 21-1771		○北見 豊	弁天町3-4-1 21-0967			

<p>●カープラザセキヤマ(21)1383 ●オートショップセキヤマ(21)1895</p> <p>総合自動車販売 関山商会 茨城県日立市城南町1-7-7 ☎0294(21)1895 ㊦317</p>	<p>食料品、雑貨、酒、たばこ</p> <p>コミュニティ ストア 田手沼 そや</p> <p>☎317 日立市鹿島町3丁目4番7号 電話 0294(24)5252代</p>	<p>印刷のことなら……</p> <p>日立市弁天町2-5-9 TEL(02)986 長山印刷</p>
---	--	---

三世代レク大会のめざすもの

大会実行委員長 大高 満 則



子どもがぐんぐん減って、老人がますますふえる。わが国の高齢化は世界に類のない速さで進み、三十年後には四人に一人が老人になる。高齢化社会は、扶養、介護、健康、医療施設など深刻な問題が多々あるが、都市化が進み、価値感が多様化し、地域社会の連帯感が失われて「孤独老人」がふえることが最大の悩みである。日本は経済大国であっても、世界一の老人自殺国であることを忘れてはならない。

三世代レク大会は、ここに着目して生れた事業のひとつである。単なるスポーツ大会でもお祭りでもない。この大会を通して、地域の皆さんが、親と子、祖父母と孫、男と女のすべての人々が、ふれあい、知り合い、語り合い、助け合うことにねらいがある。これによって、ここに住んでよかったまち、生き甲斐のあるまち助川が生れるものと信ずる。

回を重ねて第5回、今年もすばらしい成果をあげることができた。日本晴れの好天に恵

まれ、三千余名の参加者を得て盛会だった。36の地域団体の協賛をいただき、100万円の経費も市当局と地域有志のご支援をうけ、300名近い実行委員の綿密な計画と周到な準備によって一層の充実が見られた。

団長が先頭に立った応援、全力を結集した物凄い綱引き、最後の総力リレーで最下位の白組が意地を見せて一位となったことなど、三世代にふさわしいものばかりだった。

ゴミゼロ運動も完璧で、後始末も20分ですみ、最高最良の日となった。

あくる日の朝、幼稚園の朝会で聞いたところ、殆んどの子が参加したようで、みんなと一緒に「面白かった。」「シャボン玉の賞品もらった。」「楽しかった。」という声はね返って来た。苦勞した甲斐があって本当によかったと思った。実行委員の皆さんご苦勞をおかけしました。地域のみなさん有難うございました。



三世代レクの感想

高鈴支部 鈴木 新太郎

新支部長からいきなり新米団長となり、何も解らず、教えられる事ばかりでした。

当日の好天が幸いして大会は盛り上がりましたがブロックの成績が前半振わず、昨年並みとと思っていましたが中盤より急激に追い上げ、楽勝を想わせたが、最後まではらはらの連続で正に優勝は拾った感じでした。後日、優勝杯を見て何と5回中3回目の優勝とは、どこにこんな力があるのかとも思いました。綱引きは連敗中ですが練習した種目は強く、子供会は日立有数の2つの会を含み、層の厚さが強さの一因でした。山根の老人会も他にない纏まりで皆を引張ったことが、回生の糸口を作った様です。

大会を通じ、何よりも怪我人の出なかったことと、レクであるから余り勝敗に拘らないで優勝できたことが意義深いと感じました。

終りに大きな行事を纏めて戴いた関係者の御苦勞に感謝致します。

楽しかった三世代レクリエーション

5年 五條 芳範

ほくは、今年で三世代に、参加するのは、4回目です。第1ブロックです。出場した種目は、「子ども会ブロック対抗リレー」でした。

開会式が終わり、「ブロック応援合戦」になりました。今年あまりおもしろくありませんでした。「ゴールまでもう少し」には、弟が出ました。1位でゴールしたのでほくもがんばろうと思いました。そして、ほくの出る種目になりました。ほくがバトンをもらった時は、1位でした。ほくは思いきり走りました。それで、次の人にバトンをわたしました。ほくたちの平沢子ども会は、そのまま1位でゴールしました。1位の賞品は、おかしと花火でした。それで、お母さんをさがしておかしと花火をあずけました。ほくと弟とお父さんの3人で、お昼を食べに行きました。

家でお母さんから、第1ブロックが優勝したと聞いて、とてもうれしかった。来年もがんばろうと思います。



<p>おもちゃの 米月堂</p> <p>日立店……日立銀座通り TEL 日立(21)1393</p>	<p>HIGH-GRADE CLOTHS 日立銀座ビル</p> <p>服地の専門店 日曜會</p> <p>日立市鹿島町1-13-7 TEL 0456-1916</p>	<p>資生堂、コーセー、アルピオン</p> <p>COSMETIC SAKAEYA</p> <p>TEL 21-3665 日立 銀座モール</p>
---	---	--

<p>総合建設業</p> <p>藤和建设株式会社</p> <p>代表取締役 三沢 俊美</p> <p>茨城県日立市鹿島町3丁目5番2号 TEL 0294-21-0067</p>	<p>FURNITURE— —SHIKOKUYA</p> <p>株式会社 四国屋</p> <p>日立市鹿島町1丁目19番3号 TEL 0294(22)3128</p>	<p>日立市民会館・平和台霊園会館 育成会館・金沢祭場 指定 宴会・折詰仕出し・魚貝料理</p> <p>魚武本店</p> <p>日立市弁天町1丁目12番12号 電話 (22) 0241</p>
---	--	---